



Cisco Unified Presence の管理ページでの SIP プロキシ サーバの設定

- 「プロキシ サーバの設定」 (P.16-1)
- 「プロキシ サーバの設定値の設定」 (P.16-1)
- 「プロキシ サービスの再起動」 (P.16-2)

プロキシ サーバの設定

SIP プロキシ設定パラメータを設定できます。プロキシ サーバの設定に変更を加えたら、Cisco Unified Presence クラスタ内の SIP プロキシ サービスを一度停止してから再起動する必要があります。

次の変更では、SIP プロキシ サービスの再起動が必要です。

- システム サーバの追加、削除、または変更
- SIP プロキシ サーバ設定の変更
- アプリケーション リスナーの追加、削除、または変更
- TLS コンテキストおよび TLS ピア サブジェクトの追加、削除、または変更



警告

プロキシ サービスの再起動中は、Cisco Enterprise SIP プロキシ サービスで既存のトランザクションが停止されるため、新規の要求が受け入れられなくなります。

プロキシ サーバの設定値の設定

プロキシ サーバの設定値を使用して、SIP プロキシ サーバを設定します。

手順

- ステップ 1 [プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [設定 (Settings)] の順に設定します。
- ステップ 2 表 16-1 の説明に従ってプロキシ サーバの設定値を選択します。

表 16-1 プロキシ サーバの設定値

フィールド	説明
メソッド/イベントルーティングのステータス (Method/Event Routing Status)	SIP プロキシ サーバでメソッド/イベントルーティング モジュールを有効にするか無効にするかを指定します。[メソッド/イベントルーティングのステータス (Method/Event Routing Status)] で [オン (On)] または [オフ (Off)] を選択します。
優先プロキシ リスナー (Preferred Proxy Listener)	[優先プロキシ リスナー (Preferred Proxy Listener)] と見なす SIP プロキシ リスナーを指定します。このリストボックスには、[アプリケーション リスナー (Application Listeners)] ウィンドウで定義した SIP プロキシ サーバのリスナーが含まれています。

- ステップ 3** データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。
- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
 - b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

プロキシ サービスの再起動

Cisco Unified Presence の管理ページで行う変更を有効にするのに、SIP プロキシ サービスの再起動が必要な場合があります。

始める前に

「プロキシ サーバの設定」(P.16-1) を確認してください。

手順

- ステップ 1** [プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [設定 (Settings)] の順に設定します。
- ステップ 2** [すべてのプロキシ サービスのリスタート (Restart All Proxy Services)] をクリックします。
- ステップ 3** 確認ウィンドウが表示されたら、[OK] をクリックします。